

360度全方位ドライブレコーダー

## MT-DR08K

### 取扱説明書 / 保証書



この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本書は操作手順等につきまして記載してあります。正しくご使用いただく  
ために本書をよくお読みの上ご使用ください。  
お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に保管してください。  
なお、本書の巻末に保証書が添付されてます。必要事項を記入し、大切に  
保管してください。



## セット内容の確認

お取り付け前にセット内容に不足がないかをご確認ください。  
商品改良のため、予告なく製品内容が変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。



※microSD カードは付属しておりませんので別途ご用意ください。

## 保証書

保証書	
型番 MT-DR08K	
★お名前	
★お住所	
★販売店	
保証期間 1年 ★お買い上げ年月日 年 月 日	

★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

本保証書に記載された保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償で修理いたします。本製品の保証書とお買い上げ時のレシートをご用意の上お買い上げの販売店までご相談ください。下記の理由で故障や損傷が生じた場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

- 保証書をご提示いただけない場合、または字句が書き換えられている場合。
- お買い上げ後の落下または衝撃などにより故障や損傷を生じた場合。
- 使用方法の誤り、分解、改造などにより故障や損傷を生じた場合。
- 火災、地震、水害、その他の天変地異により故障や損傷を生じた場合。
- その他、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められる場合。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

※点検や修理の際、お客様が記録したデータや設定内容が消去される場合があります。点検や修理をご依頼される前に、あらかじめお客様にてデータのバックアップを行ってください。

※修理品の取り外し・取り付けはお客様自身で行ってください。それにより発生する費用等は保証の対象外となります。

### ■ご不明な点等ご相談は

お買い上げの販売店または  
サポートセンターまでご相談ください。

サポートセンター

**0800-919-3690** (通話料無料)

携帯電話、PHS からのお問い合わせ **022-486-3390** (通話料有料)

**e-mail: support@motion-web.net**

受付時間：10:00～12:15、13:15～17:00 月～金 (祝祭日・夏期・年末年始休業)

<https://motion-web.net/>

## ●製品の主な仕様

### 本体カメラ

カメラ(イメージセンサー)	200万画素
記録動画解像度	1440×1440 24FPS
動画ファイル形式	MP4
音声記録	ON/OFF可能
動体検知	あり
静止画解像度	1440×1440
静止画ファイル形式	JPEG
画面サイズ	4.5インチタッチパネルスクリーン
記録媒体	microSDカード 8GB～32GB (Class10以上推奨)※別売
バッテリー	500mAh リチウムポリマー
外部電源	miniUSB、DC5V
動作温度	-10～+60℃
本体サイズ	高さ90×幅130×奥35mm (ブラケット部分を除く)
本体重量	約160g
対応車種	DC12V/24V



### バックカメラ

サイズ	高さ22×幅22×奥22mm
重量	93g
電源	ドライブレコーダー本体より給電
付属品	固定シール、固定ネジ(2本)
解像度	640×480 24FPS
ケーブル長	6m
防水性能	IP65

※本製品は内蔵バッテリーで駐車監視モードを起動させます。そのため、内蔵バッテリーがなくなると自動的に駐車監視モードは解除されます。

## ●メモリーカード録画目安

※撮影枚数・録画時間はおよその目安です。撮影環境や被写体などの条件や、ほかのデータが保存されている場合により枚数・時間は変動します。

ファイルサイズ		microSDHC カード Class10 以上		
		8GB	16GB	32GB
 動画	HD動画 1440×1440 1.3Mbps	録画可能時間:90分	録画可能時間:180分	録画可能時間:360分
		1分設定/90ファイル	1分設定/180ファイル	1分設定/360ファイル
		2分設定/45ファイル	2分設定/90ファイル	2分設定/180ファイル
		5分設定/18ファイル	5分設定/36ファイル	5分設定/72ファイル
 静止画	200万画素 1440×1440	17,924 枚	35,848 枚	71,696 枚

# 目次

<b>1 はじめに</b>	本製品の特長 ..... 1
	セット内容の確認 ..... 2
<b>2 安全にお使いいただくために</b>	安全上お守りいただきたい事 ..... 5
	取付けについて ..... 6
	電源について ..... 6
	カメラについて ..... 7
	録画について ..... 7
	メモリーカードについて ..... 8
	著作権について ..... 9
<b>3 本体各部の名称</b>	本体各部の名称 ..... 10
<b>4 取り付け準備</b>	メモリーカードをセットする ..... 11
	取付位置を確認する ..... 12
	本体を取り付ける ..... 13
	バックカメラを取り付ける ..... 15
<b>5 録画する</b>	動画撮影モード ..... 16
	駐車監視モード ..... 18
<b>6 録画・撮影した映像を見る</b>	本体で確認する ..... 19
	パソコンで確認する ..... 20
<b>7 各種設定を変更する</b>	記録設定を変更する ..... 24
	システム設定を変更する ..... 24

# 故障かな？と思ったら

<b>8</b> 故障かなと思ったら		故障かなと思ったら ..... 25
<b>9</b> 製品仕様		製品仕様 ..... 26
<b>10</b> 製品の保証について		製品保証書 ..... 27

## ●よくあるトラブル

本製品使用中に異常が発生した場合は下記の方法をお試しく下さい。

異常	原因	解決法
本製品が可動しない	シガー電源の故障やバッテリーの電圧不足	シガー電源が故障していないかを確認し、故障していない場合にはシガー電源で本体の充電を行ってください。
	システムの異常	電源ボタンを 10 秒間長押しし、本製品を再起動してください。
異常	システムの異常	1、リセットボタンを短く押し、本製品を再起動してください。 2、電源ボタンを 10 秒間長押しし、本製品を再起動してください。
エンジンを切ったとき、もしくは本製品が可動している時、すぐに電源がオフになってしまう	シガー電源の故障やバッテリーの電力不足	シガー電源が故障していないかを確認し、故障していない場合にはシガー電源で本体の充電を行ってください。
記録された静止画が表示されない、あるいは壊れている	microSD カードのファイル読み込み速度が遅い	Class10 以上の microSD カードを使用してください。
再生時に音が出ない	本体設定がミュートになっている、もしくはボリュームの設定が、最小になっている	本体設定で音量がミュートになっていないか確認、もしくはボリューム設定の確認をしてください。
動画・静止画が保存されない	microSD カードが挿入されていない	microSD カードを挿入してください。
繰り返し録画されていない	保護されているファイルで一杯になっている	不必要な保護ファイルを削除してください。

## 設定を変更する

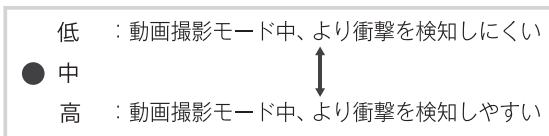
### ●記録設定を変更する

#### 1 常時録画

ファイルの長さを設定します。1分 / 2分 / 5分から選びます。初期設定は1分です。

#### 2 Gセンサー感度

衝撃を感知すると録画データを自動でロックするGセンサーの感度を設定します。



● : 初期設定値

※感度はレンズが真下向きの時に最大になります。カメラの振り角度が大きくなるほど感度は低下します。

#### 3 自動録画モード

電源がONになると自動的に録画がスタートするようにするかどうかを設定します。オンにすることを推奨します。初期設定はオンです。

#### 4 音声録音

録画と同時に音声を録音するかどうかを設定します。初期設定はオンです。  
※録音時の音量の調整はできません。

#### 5 バックカメラ鏡像

バックカメラを接続している際、設定をオンにすることでバックカメラの映像を左右反転表示させることができます。初期設定はオンです。

#### 6 スクリーンセーバー

面消灯のオンオフを設定します。1分 / 2分 / オフから選択します。画面が消灯しても、録画は継続されます。初期設定はオフです。  
※電源ボタンを押す事で、画面表示のオンオフが可能です。

### ●システム設定を変更する

#### 1 言語設定

メニューの表示言語を設定します。初期設定は日本語です。

#### 2 音声設定

起動音などの再生時の音量を変更します。初期設定は中です。

#### 3 周波数

電源周波数をお住まいの地域に合わせて、東日本の場合は50Hzに、西日本の場合は60Hzに切り替えが必要になります。初期設定は60Hzです。  
※LED信号機の色を識別し、消える現象を防ぎます。

#### 4 時間設定

変更したい箇所【日付 / 時間】をタッチして変更後、確定してください。

#### 5 システム再設定

【フォーマット】

SDカードの初期化を行います。フォーマットをタッチするとデータが削除されるアナウンスとともに「確定」と「キャンセル」が表示されます。初期化を行う際は、「確定」を押してください。

【工場出荷設定】

本体の設定を初期化します。工場出荷設定をタッチするとデータが削除されるアナウンスとともに「確定」と「キャンセル」が表示されます。初期化を行う際は、「確定」を押してください。

## 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、お客様や周りの方、物への被害を防ぐため、必ずお読みください。

### 注意事項の定義

本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。各々の定義（意味）を十分に理解されたうえで、お取り扱いください。



誤った取り扱いをすると、死亡や重傷などを負う可能性が想定されるもの



誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定されるもの



誤った取り扱いをすると、法律違反となる可能性が想定されるもの



その他

### 安全上お守りいただきたいこと



破損や故障など、異常な状態のまま使用しないでください。発煙、異音、異臭などが発生した場合は直ちに使用を注意してください。事故や火災の原因となります。



走行前に取付状態を確認してください。脱落、落下などにより、ケガや事故の原因となります。



動作確認のための急発進や急ブレーキは行わないでください。ケガや事故の原因となります。



病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。ペースメーカーや医療用電気機器などの誤作動の原因となる恐れがあります。



電源コードや各端子部のホコリや汚れはよく拭いて取り除いてください。接触不良などによる感電や火災の原因となります。



長時間使用しない場合は電源ケーブルをドライブレコーダー本体から外してください。車両バッテリーの放電や火災が起こる恐れがあります。また、長期間にわたって本製品を密閉された空間、炎天下、高温な環境に放置すると火災や故障の原因となります。



本製品は防塵、防滴、防水仕様ではありません。水をかける、濡れた手で操作する、異物を入れるなどの行為は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。



⚠ 本製品内に結露が生じた場合は使用しないでください。低温の場所から高温の場所に移動した際に結露が発生しやすくなり、故障や発熱の原因となります。

⚠ 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

⚠ 磁石などの磁気をおびたものを本製品の近くに置かないでください。故障やデータ破損の原因となります。

⚠ 本製品の穴や隙間にピンや針金などの金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

⊘ 運転者は走行中に操作及び画面の注視をしないでください。法律で禁止されている行為であり、また事故の原因となりますので絶対に行わないでください。

⊘ 分解や修理、改造は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。

## 取付けについて

⚠ エアバックの動作を妨げる場所には取付けや配線を行わないでください。動作したエアバックによる事故やケガ、またはエアバックが正常に動作しない場合があります。

⊘ 取付けは、本書に従って正しく行ってください。また、走行時や検査時にはレコーダー本体をマウントから取り外さないでください。誤った取付けは道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります、また事故の原因となります。

⊘ ラジオやカーナビなど、ほかの電子製品と電波干渉する場合があります。電波干渉した場合はドライブレコーダーの位置を変更してください。

## 電源について

⚠ 電源ケーブルを外す際は、必ずコネクタ部分を持って行ってください。電源ケーブルが損傷すると、感電および火災の原因となります。

⊘ 輸入車などの一部の車両では、エンジンを停止してもシガーソケットに常時電源が供給されるものがあります。その場合は、降車時に電源ケーブルを抜いてください。

## ● 画角の変更について

画角の変更について  
「Select File」をクリックしてデータを読み込みます。マウスを動かして画面上の○を動かしたり、サイズを変更して、読み込みたい範囲を設定します。「Save」を押すとその状態が保存され、以降設定した範囲のみ再生されるようになります。



## ● 画質変換について

画質変換について  
変換をする動画データをパソコンのデスクトップに移行します。「ファイル追加」をクリックしてデスクトップの動画データを読み込みます。カメラ方向やカメラモード変更し、出力したい画面を選択します。また画面を直接ドラッグして方向を決める事も可能です。画面が決定したら、「スタート」を押すと出力作業が始まります。変換されたデータは読み込んだ動画データがある場所に保存されます。



## ●VeSeeGoの使い方

### ○基本操作画面



①②③④⑤

⑥

⑦⑧⑨⑩

⑪

⑫

⑬⑭⑮



#### 再生リストアイコン

- ①再生モード
  - ・リスト順
  - ・シャッフル
  - ・リピート
- ②リストに追加
- ③リストから削除
- ④リストを削除
- ⑤再生リスト

#### 画面下部アイコン

- ①再生リストを隠す
- ②1つ戻る
- ③再生 / 一時停止
- ④1つ進む
- ⑤停止
- ⑥カメラの向き ⑪ 画角の変更
- ⑦2画面 ⑫ ボリューム
- ⑧4画面 ⑬ 直接開く
- ⑨180度画面 ⑭ 画質変換
- ⑩ワイド画面 ⑮ 全画面

### ○基本的な使い方

- ①Play Listの下にある+をクリックして、動画をリストに加えていきます。
- ②リストから動画を選択後、再生ボタンを押します。
- ③撮影データは球面モードになっています。画面下の「2画面」「4画面」「ワイド」をクリックすると画面が変わります。カメラの向きをクリックすると、下、上、正面など、カメラの方向が変わります。マウスをドラッグして、画面を動かす事も可能です。



本体の電源を ON にしてから、録画の開始まで最大約 30 秒かかります。



一部のアイドリングストップ車では、再始動時の電源を確保するため、供給電圧が低下することがあります。これにより本製品への電源供給が停止する場合があります。

### カメラについて



ダッシュボードなど温度が急激に上昇する場所に放置しないでください。変形および火災の原因となります。



長時間の使用によりカメラ本体が高温になった場合は、直接手で触れないでください。ヤケドの原因となります。



カメラ本体の端子を手で触らないでください。故障の原因となります。



清掃の際、研磨剤入り洗剤、アルコール、有機溶剤入りの洗浄液を使用しないでください。



レンズに直射日光を長時間当てないでください。故障の原因となります。



レンズ表面に泥や砂、指紋などの汚れが付着したときは、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で拭き取ってください。

### 録画について



記録した映像やデータを違法な目的で使用しないでください。



記録した映像やデータは、使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。本製品で記録した映像やデータの内容、それによって起因した事項については、当社は一切責任を負いません。



本製品は事故の証拠としての効力およびナンバーや車種、色などの特定を保証するものではありません。



本製品はすべての状況下における録画を保証するものではありません。また、本製品の使用や故障によって生じた損失、および記録された映像やデータの損傷などによる損害については、当社はその責任を一切負いません。あらかじめご了承ください。



- ◎ LED式信号機はチラついたり、色の識別ができない場合があります。
- ◎ 録画性能や記録時間などは被写体や周辺環境などに影響され、変動する場合があります。
- ◎ 急激に周囲の明るさが変わったときや逆光、夜間などは録画品質が低下することがあります。
- ◎ レンズ表面や車両ガラス表面はいつもきれいにしておいてください。ホコリや異物による乱反射や屈折により、映像が乱れるおそれがあります。
- ◎ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプを点灯してください。

## メモリーカードについて

- ⚠ 長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は、直接手で触れないでください。ヤケドの原因となります。
  - ⚠ 油が付いた手や濡れた手でメモリーカードを触らないでください。損傷、故障の原因となります。
  - ⚠ データのバックアップ、フォーマット、システムリセットおよび動作中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。データやメモリーカードが損傷し、使用できなくなる恐れがあります。
  - ⚠ メモリーカードを落としたり強い衝撃を与えないでください。破損およびデータが損失する恐れがあります。
  - ⚠ スロット内に異物を入れたり、端子部分を手で触らないでください。破損、誤動作、故障の原因となります。
  - ⚠ メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカチッと音がするまで差し込んでください。無理に挿入するとメモリーカードを破損させる原因となります。
- 以下の場合、メモリーカードをフォーマットしてください。
- ◎ ●新規購入したカードを使うとき
  - ◎ ●ほかのカメラやパソコンなどでフォーマットしたカードを使うとき
  - ◎ ●書き込み / 読み取り速度が遅くなったと感じたとき
  - ◎ ●カード内のデータをすべて消去したいとき

①リムーバブルディスクに保存されている【VeSeeSetup.exe】をダブルクリックします。

②「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示されたら「はい」を選びます。

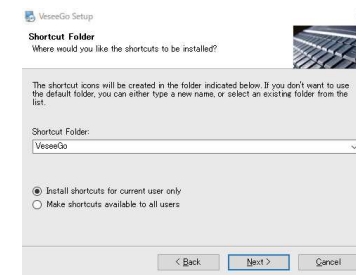
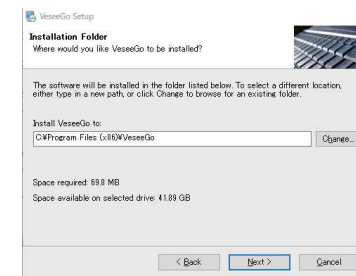
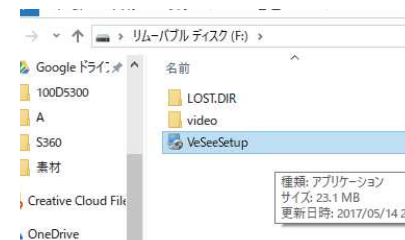
③インストール画面が表示されますので「NEXT」をクリックします。

④ソフトのインストール先を聞かれますので、画面に表示されている場所以外にインストールする場合は、「change」をクリックして、保存先を選択し「NEXT」をクリックします。

⑤次の画面になるとショートカットの保存先を選択できますので、任意の場所に保存先を設定し「NEXT」をクリックします。

⑥「NEXT」→「NEXT」をクリックするとインストールが始まります。

⑦「finish」をクリックするとインストールは終了します。デスクトップに【VeSeeGo】のショートカットアイコンができています。



以上でソフトのインストールは終了です。

## 3 アップデートの確認

デスクトップにある【VeSeeGo】のショートカットアイコンをダブルクリックすると、【VeSeeGo】が起動します。起動すると、まずソフトのアップデートの確認が始まります。ダウンロードを行いますので、最後に「finish」ボタンが表示されたらボタンをクリックして、アップデートを終了します。

※起動した際に、ウイルスセキュリティソフト（ウイルスバスター等）が警告を出す場合があります。使用を許可した上でご利用下さい。

## ●パソコンで再生する

### 1 パソコンにカードを読み込む

撮影したデータをパソコンで見するには、microSDカードを本体から抜き、カードリーダー（別売）などでパソコンに読み込ませます。

#### ○Windows7以下の場合

スタートボタン→コンピューターをクリックします。

#### ○Windows8の場合

アプリ一覧→PCをクリックします。「リムーバルディスク」をダブルクリックします。

#### ○Windows10の場合

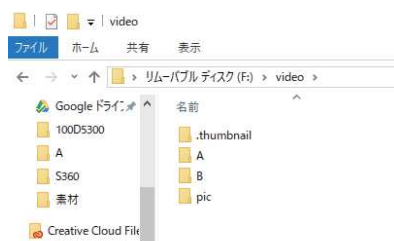
スタートメニュー→エクスプローラー→デバイスとドライブでドライブをダブルクリックします。

リムーバルディスク内【video】に撮影したデータが保存されています。

- ・thumbnail…サムネイル画像保存用フォルダ
- ・A…動画保存用フォルダ
- ・B…バックカメラ録画データ保存用フォルダ
- ・pic…静止画保存用フォルダ

★SOS…ロックされたデータの保存フォルダ

※SOSフォルダはAフォルダの中に入っています。



### 2 ソフトのインストール

撮影されたデータを正しくみるためには、専用のPCビューアが必要になります。ドライブレコーダーで撮影をすると、microSDカード内に、自動的に再生用のPCビューアが保存されます。

#### ■ システム要件

PCビューアを実行するためのシステム要件は以下の通りです。

- ・プロセッサ：Intel Core i5以降（2.4GHz以上推奨）
- ・メモリー：4GB以上
- ・オペレーティングシステム：Windows 7以降（64ビット推奨）
- ・その他：DirectX 9.0以降 / Microsoft ExplorerのVer7.0以降 / OpenGL 2.0対応

このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、PCビューアが正しく機能しません。

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。



特定のソフト・ドライブとの干渉による問題がみられる場合がございます。（例：グラフィックカードのドライバ・地デジチューナー等のソフト）上記の理由によりトラブルが発生しても、ご自身で解決できる方のみご利用下さい。本アプリケーションに関しましてはすべてのお問い合わせ内容にご対応できない場合があります、サポート対象外となります。



メモリーカードは消耗品です。一定使用期間（回数）が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画できなくなることがあります。



重要なデータは必ず、他のデバイスにバックアップしてください。メモリーカード上のデータは上書きや消去される場合があります。



メモリーカードを別途購入する場合は、必ず使用条件をご確認ください。条件を満たしていないメモリーカードを使用すると、データの損失や記録できない場合があります。



メモリーカードは、清潔な乾燥した涼しい場所で保管してください。精密な電子部品で構成されており、下記のような場所での取り扱い、保管をすると録画ファイルが破損する恐れがあります。  
例) 静電気・ノイズ・水・湿気・衝撃・曲げ・折り・腐食性ガス



メモリーカードのフォーマットを行った際に、「SDカードを挿入してください」のメッセージが表示されたままになる場合があります。その場合、録画を開始することで表示が消えます。

#### 著作権について



記録した映像やデータは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

#### よくある質問

Q:SDカードを読み込まない

A:SDカードの種類をご確認ください。

対応カード種類:microSDHC

対応スピードクラス:UHS-I スピードクラス10以上

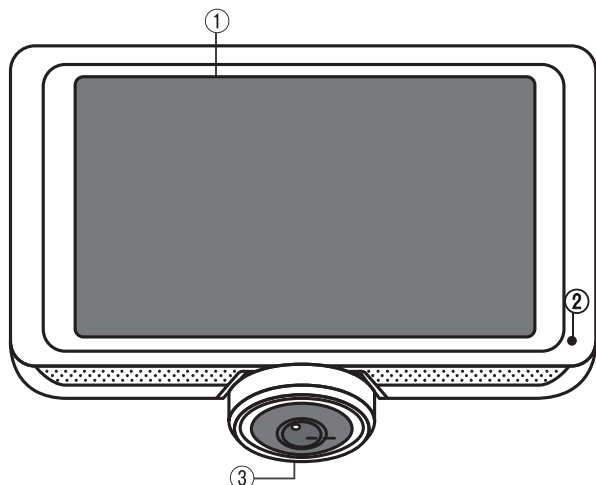
対応容量:8GB~32GB

※使用条件内であってもすべてのSDカードで動作を確認しているものではありません。

また、ご使用前に一度本体内の設定よりSDカードの初期化を行ってください。まれに、「SDカードを挿入して下さい」の表示が消えない場合がありますが一度録画を開始すると表示が消えます。

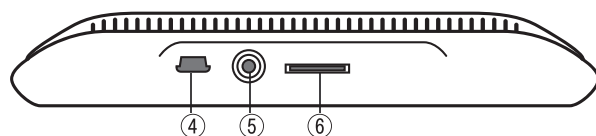
## 本体各部の名称

本体表面



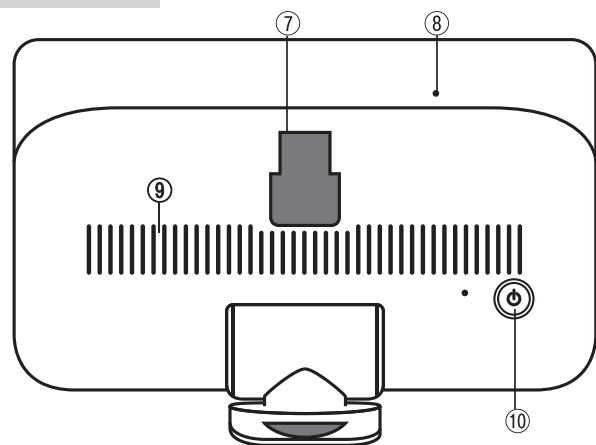
- ①タッチパネルモニター
- ②マイク
- ③360度カメラ

本体上部



- ④USB ポート
- ⑤カメラ映像入力
- ⑥microSD カードスロット

本体裏面



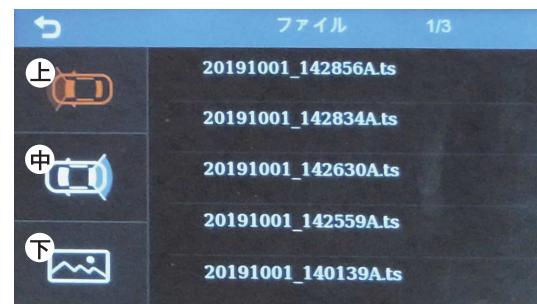
- ⑦スタンド取付溝
- ⑧リセットボタン
- ⑨排熱溝
- ⑩電源ボタン

## 録画・撮影した映像を見る

### ●レコーダー本体で見る

#### 1 録画を停止し、ファイル再生画面を開きます。

本体で録画・撮影したデータを確認するには、録画停止中に画面下の写真マークをタッチしてください。



上	ドライブレコーダー本体で録画したデータ
中	バックカメラで撮影したデータ
下	静止画（録画モード時にカメラマークをタッチ）

#### 2 再生したいファイルをタッチで選択する。

ファイル再生画面に録画データのサムネイルが表示されるので、再生したいファイルを選びタッチすると再生されます。また、保存されたファイルを約2秒長押しするとファイルを削除することもできます。



- ① スキップ戻し  
ひとつ前のファイルに戻ります。
- ② 再生 / 一時停止  
動画を再生・一時停止します。
- ③ スキップ送り  
一つ先のファイルに進みます。
- ④ モード変更  
カメラモードの変更を行います。

動画・静止画再生中に右上のモード変更ボタンを押すとカメラモードの変更を行います。通常再生時はワイドアングルになっていますが、球面モード、フロント&バックモード、マルチウィンドウモードに切り替えると、画面をスワイプすることで360°角度を変更して再生ができます。

※タッチパネルを強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作しないでください。タッチパネルの故障や破損でケガの原因となります。

※サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまう場合がございます。あらかじめご了承ください。

# 取り付け準備・取り付け方

## ●カメラモードの変更

メイン画面・動画録画中の操作画面で カメラモード変更ボタンをおすと 4 種類のカメラモードに切り替えることができます。

録画データは球面モードで録画され保存されます。

ワイドアングルモード



球面モード



フロント&バックモード



マルチウインドウモード



## ●駐車監視モード

### 1 エンジンを切る

電源が切れる際、【電源オフ/駐車監視/キャンセル】と表示されるので【駐車監視】をタッチしてください。1分後駐車監視モードを開始します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●当て逃げなどを記録したい</li> </ul>	<p><b>■駐車監視録画</b> (保存フォルダ：A)</p> <p>車体の衝撃や振動を感知し数秒後に録画が開始されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画ファイルは 1 ファイル約 30 秒程度で保存されます。</li> <li>・内蔵バッテリーがない状態では録画開始されません。</li> <li>・保存されたデータは上書き保存されないようにロックがかかりファイル名に「SOS」と入ります。</li> </ul>
---	---

※駐車監視モード時はバックカメラの映像は保存されません。

### 2 駐車監視モードを終了し、通常録画を行う場合

ドアを開めた振動で駐車監視録画が開始される場合があり、その状態でエンジンをかけると駐車監視モードの録画が始まり、駐車監視モードに戻り画面が暗くなります。その際は、シガープラグを抜いていただき、再度差し込むことで通常録画が開始されます。振動を感知しなかった場合は、エンジンをかけた際に通常録画が開始されます。

## ●メモリーカードをセットする

### 1 電源 OFF を確認する

ドライブレコーダー本体の電源が OFF で、通電していない事を確認します。

### 2 microSD カードをセットする

本体上部のカードスロットにメモリーカードの向きに注意して、カチッと音がするまで確実に奥まで差し込んでください。

#### 【取り出し方】

メモリーカードを取り出す際は、カードをカチッと音がするまで押し込み、少し飛び出したらゆっくりとまっすぐに引き抜いてください。



#### ⚠ 注意

- データの保存中、フォーマット、システムリセットおよび動作中には、絶対にメモリーカードの抜き差しはしないでください。メモリーカードが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- 重要なデータは、必ずほかのデバイスにバックアップしてください。データによっては本製品使用中に上書きされる場合があります。
- メモリーカード内に、本製品以外で記録されたデータを保存しないでください。正しく動作しない場合があります。
- メモリーカードには向きがあります。正しく装着していないと、メモリーカードの破損や誤動作の原因となります。
- メモリーカードの取出しは、必ず本製品の電源が OFF になっていることを確認してから行ってください。ON の状態で取り出すとメモリーカードの保存データを破損させる原因になります。
- 長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は、直接手で触れないでください。ヤケドの原因となります。
- メモリーカードは消耗品で寿命があります。(製品により異なります) 定期的に新品への交換をお勧めします。
- 本機と SD カードの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- 使用条件内であってもすべての SD カードで動作を確認しているものではありません。メモリーカードをご用意される場合は以下の条件をご確認ください。

カードの種類	microSDHC
スピードクラス	UHS-I スピードクラス 10 以上
容量	8GB ~ 32GB

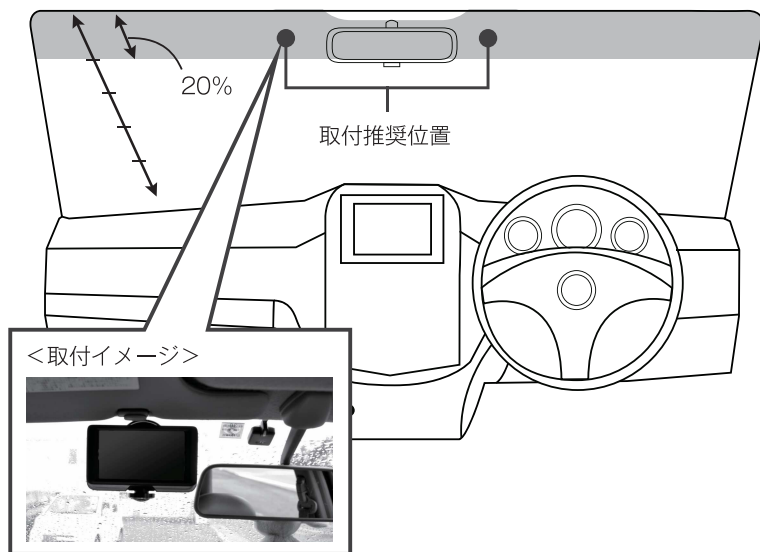


## ●取付位置を確認する

吸盤スタンドを仮取付けした後、下記注意事項を確認し、レコーダーの取り付け位置および電源ケーブルの取り回しを確認してください。

※誤った取付けは、道路運送車両法の保安基準に違反するおそれがあります。

必ず正しく取り付けてください。また、走行時や検査時にはカメラ本体をスタンドから取り外さないでください。



**△ 注意** 下記項目をすべて満たすように取付け・取り回しを行ってください。

- 運転時の視界や操作を妨げない事
- ルームミラーやエアバッグの動作を妨げないこと
- フロントガラスの上部 20%の範囲内に入っている事（上図参照）
- カメラのレンズがワイパーの拭き取り範囲内に入ること
- ガラスにプリントされている熱線やアンテナなどにマウントの貼付け面が重ならないこと
- 安全運転支援システムなどのカメラを装着している場合は、その映像範囲内に写り込まないこと
- 映り込みを防止するため、本機の周囲には物を配置しないこと
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下・ちらつき・ノイズの原因となる可能性があるため、可能な限り離すこと

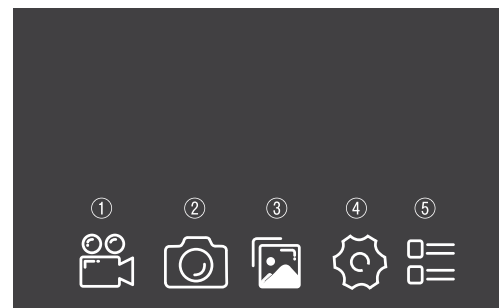
※取り付け位置について警察官や車検時に注意・警告を受けた場合はその指示に従って取り付けてください。

※法律が改訂された場合は法律に則って取り付けてください。

## ●操作インターフェイス画面

画面をタッチして操作を行います。

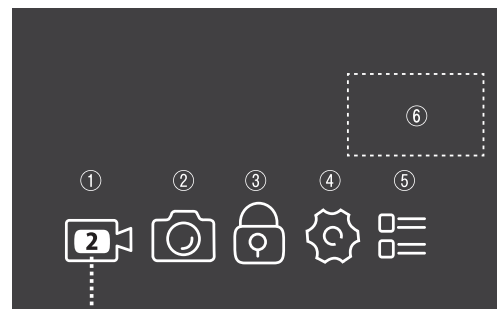
### 1 録画をしていないときのメイン画面



- ① 動画撮影  
動画撮影のON/OFF
- ② 静止画撮影  
静止画を1枚撮影します
- ③ 再生  
記録したデータを再生します
- ④ 設定  
各種設定を行います
- ⑤ モード変更  
カメラモードの変更を行います

録画をしていないときのメイン画面では、記録したデータの再生や本体の各種設定を変更することができます。

### 2 動画録画中の操作画面



※常時録画の設定時間が表示されます。(P24)

- ① 動画撮影  
動画撮影のON/OFF
- ② 静止画撮影  
静止画を1枚撮影します
- ③ ロック  
現在録画中のデータを上書きしないようにロックをかけます
- ④ 設定  
操作不可
- ⑤ モード変更  
カメラモードの変更を行います
- ⑥ バックカメラ映像  
バックカメラの映像を表示します

動画を撮影している間は記録したデータの再生や本体の各種設定操作を行うことはできません。設定変更やデータの再生を行う場合は、動画撮影ボタンをタッチして一度録画を停止した状態で行ってください。

バックカメラ映像は別枠で表示され、タッチすると全画面で表示することができます。



# 録画・撮影する

## ●動画撮影モードで撮る

### 1 エンジンをかけ、電源をONにする

エンジンをかけるとドライブレコーダーの電源が自動でONになり、常時録画を開始します。

※自動録画モードをオンに設定を行わないと自動で録画が開始されません。(P24)

注意：駐車監視モードを設定している場合には、ドアを閉めた振動で駐車監視録画が開始され通常録画ができない場合があります。その際は駐車監視モードの設定を切ってください。(P18)

### 2 録画する

動画撮影モードでは下記の3つの録画機能が使えます。

メモリーカードには各録画機能ごとにフォルダが作られ、録画・撮影されたファイルは各フォルダに自動で振り分けられ記録されます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●事故状況を残したい</li> </ul>	<p><b>■衝撃感知録画</b> (保存フォルダ：A)</p> <p>衝撃検知後、約30秒間の映像を記録保護します。衝撃感知で録画された映像は自動で保護され、microSDカードの容量が一杯になっても上書きされません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●記念写真を静止画で撮りたい</li> </ul>	<p><b>■静止画撮影</b> (保存フォルダ：pic)</p> <p>レコーダー本体の静止画撮影ボタンを押すと、静止画を1枚撮影します。microSDカードの容量が一杯になると静止画撮影はできません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常に録画しておきたい</li> </ul>	<p><b>■常時録画</b> (保存フォルダ：A)</p> <p>エンジンをかけてから切るまで連続で録画し続けます。録画時間を設定から1分・2分・5分と切り替えることができます。microSDカードの容量が一杯になると、自動で古いファイルから上書き保存されます。</p>

#### <もしも事故がおきたら>

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り出して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

### 3 エンジンを切り、電源をOFFにする

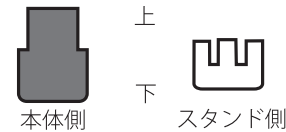
エンジンを切ると、ドライブレコーダーの電源が自動でOFFになります。

※一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合がございます。

## ●レコーダー本体を取り付ける

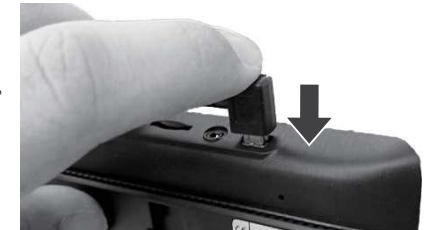
### 1 本体に取付スタンドを装着する

レコーダー本体と取り付けスタンドのスライドレール部の凹凸の形状を合わせて差し込み、カチッと音がするまでスライドさせます。



### 2 シガー電源ケーブルを接続する

付属のシガー電源ケーブルのmini-USB端子を本体上部のUSBポートに差し込んでください。



### 3 取付位置をきれいにする

取付け面の汚れ、油分を中性洗剤でよく拭き取り、水拭きをした後、乾いた布で拭き取ります。

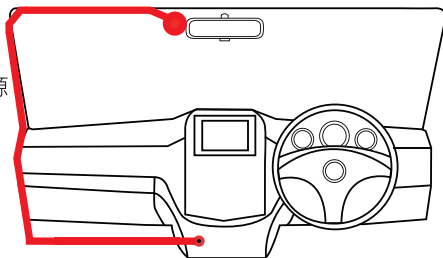
### 4 フロントガラスに貼りつける

スタンドの吸着レバーが上がっていることを確認し、フロントガラスに強く押し付けながら吸着レバーを下げて貼りつけます。



## 5 電源ケーブルを取回す

本体をフロントガラスに取り付けた後、市販のケーブルフックなどを使いシガー電源ケーブルの配線を処理していきます。



## 6 電源ケーブルをシガーソケットに接続する

電源ケーブルをシガーソケットまで配線処理した後、車両のシガーソケットに差し込みます。

## 7 エンジン始動後、カメラの角度を調節する

エンジンを始動すると、約30秒ほどで録画画面に切り替わりますので、画面の映像を見ながらカメラの振り角度を調節します。

### カメラの振り角度と見え方について

カメラの振り角度によって見え方が異なります。車の進行方向へレンズを向けることで前方の交通状況が映りやすくなり、また、進行方向とは逆向きにレンズを向けることで車内や後方の様子が映りやすくなります。お好みに合わせて角度の調節をしてください。



【前方撮影用角度】



【通常撮影角度】



【車内撮影用角度】



## 8 エンジンを切る

カメラの振り角度を決めたら、エンジンを切り、取付完了です。

## ●バックカメラを取り付ける

付属のバックカメラを本体と接続する事で後方の映像を確認・録画することができます。

取り付けにつきましては、専門の車載用品取り付け業者へご相談ください。



後続車のおおりの運転や、追突事故時の証拠映像として記録できます。通常撮影画面時にバックカメラの映像をタッチすると、全画面表示することができます。

## 1 バックカメラを取り付ける

付属のバックカメラを固定用ネジ、もしくは両面テープ付きスポンジを使い取り付けます。



## 2 バックカメラケーブルを取回す

バックカメラを固定した後、バックカメラケーブルを市販のケーブルフックなどで、配線処理していきます。

## 3 本体にバックカメラケーブルを接続する

付属のバックカメラケーブルの端子を本体上部の外部映像入力端子へ差し込みます。  
※バックカメラの電源は、レコーダー本体から常時供給されます。



●お車に配線(工事必要)することによりバックカメラをバックモニターとして使用することも可能です。

※取り付けにつきましては、専門の車載用品取り付け業者等へご相談ください。

※バックモニター機能につきましては保証の対象外とさせていただきます。